

監視・防犯カメラ（デジタル及びアナログ）映像の自動監視及び 画像認識 AI アルゴリズムによる異常検知「Bird's Eye」

JIG-SAW と Mobicomm は、保有する信号制御技術（DSP）を活用した「アノーマリディテクション（AD）：異常データ検知」アルゴリズムを応用し、監視・防犯カメラデータのエッジ自動検出処理によるアルゴリズム提供とサポートを開始します。

これは監視（防犯）カメラにおける、各種画像・映像データのリアルタイム判別・処理を自動的に実現し、デジタルカメラのみならず現行の設置済アナログカメラにおいても、データコンバータと組み合わせ、異常検知したデータ・画像のみをリアルタイム自動認識（画素単位差分及び輝度変化認識）し自動ディスク保存し、自動通知・自動制御することが可能な仕組みです。

なお、当社の監視・防犯カメラ分野における活動は、すでに Avigilon Corporation（本社：カナダ・バンクーバー）との公共施設分野を軸にした協業等、多様な取り組みを開始しておりますが、今後も当社 DU コンソーシアムパートナー等の企業との多くの協業や連携を通じ、監視・防犯カメラ分野におけるサービス開発を多様な形で実施してまいります。当社は以前より、監視・防犯カメラ分野を社会インフラにおける重点領域の一つとして捉えており、サーバやクラウドなどのコンピュータシステムや IoT デバイス分野における保有基盤技術の応用をより広範囲に適用するとともに、監視・防犯カメラ分野におけるサービスを強化してまいります。今サービスは当社の一連のエッジ監視・俯瞰・制御サービス「Bird's Eye」をベースに監視・防犯カメラ対象の「Bird's Eye Pixels」として、ご提供いたします。当社は今後も「安全な未来社会を支え実現していく」技術とサービスのご提供に取り組んでまいります。

【JIG-SAW 株式会社について】

JIG-SAW 株式会社は人工知能制御による IoT データコントロール及びロボット型ソフトウェアモジュール群による全自動 IoT プラットフォーム及び分散型 E2E データコントロールアーキテクチャー(分散レジヤ)及び MEC (Mobile Edge Computing) 基盤提供、次世代リアルタイム OS・最先端各種チップモジュール群及び通信制御技術の研究開発等を軸に、ビジネスシステムの最適制御・運用技術「オペレーションテクノロジー(OT)」をベースにした全産業の自動化・分散化・シェアリング化を加速させる次世代の A&A ロボットテクノロジーカンパニー。OS 技術及びグループ会社の Mobicomm 社による組み込み技術及び専用ソフトウェアのバランスチューニングによる分散型エッジ超並列高速処理技術、超高速通信技術、ゼロ消費電力通信技術及び色・信号制御技術を保有。

■会社概要

会社名： JIG-SAW 株式会社 (URL : <https://www.jig-saw.com/>)

証券コード： 3914

所在地： 東京本社/東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 2 号-18F
札幌本店/北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 32 番-7F
SCC およびサテライトオフィス、A&A ラボ/札幌市内

代表者： 代表取締役 山川 真考

設立： 2001 年 11 月

【本件お問い合わせ先】

JIG-SAW 株式会社 (JIG-SAW INC.)

経営管理本部 広報担当

TEL: 03-6635-6657